

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態																																																
クリティカルケア看護学特論Ⅲ(治療管理)	1	前期	2	講義 30時間																																																
担当教員	松本幸枝、中島洋一、路璐、不動寺純明、田中美千裕、林淑朗、草薙洋、田邊大明、水上暁、関根広介、酒井武志、鵜澤吉宏																																																			
授業概要	クリティカル状況下にある対象者の生体侵襲を理解し、必要な治療や検査について学修することで、科学的根拠に基づいた高度な看護実践について修得できる。																																																			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クリティカル状況下にある循環器疾患、呼吸器疾患、腎臓、消化器、脳血管障害がある対象者と、必要な治療について理解し、説明ができる。</li> <li>2. クリティカル領域特有の、外傷や熱傷、急性薬物中毒によって治療が必要となった対象者とその治療について理解し、説明ができる。</li> <li>3. 高度侵襲手術、生命維持装置やデバイスなどの先端医療を必要とする対象者とその治療について理解し、説明できる。</li> <li>4. 身体侵襲を伴う対象者の回復過程を理解し、予防行動の看護実践につなげることができる。</li> </ol>																																																			
履修条件	特になし																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>侵襲と治療</td><td>松本</td></tr> <tr><td>2</td><td>診察と治療 外傷</td><td>不動寺</td></tr> <tr><td>3</td><td>診察と治療 急性薬物中毒</td><td>不動寺</td></tr> <tr><td>4</td><td>診察と治療 熱傷</td><td>不動寺</td></tr> <tr><td>5</td><td>診察と治療 急性脳血管障害</td><td>田中</td></tr> <tr><td>6</td><td>診察と治療 急性呼吸不全</td><td>林</td></tr> <tr><td>7</td><td>診察と治療 ショック</td><td>林</td></tr> <tr><td>8</td><td>診察と治療 せん妄</td><td>林</td></tr> <tr><td>9</td><td>開腹術/術前・術中・術後の管理</td><td>草薙</td></tr> <tr><td>10</td><td>開心術/術前・術中・術後の管理</td><td>田邊</td></tr> <tr><td>11</td><td>心疾患の治療と管理/デバイス</td><td>水上</td></tr> <tr><td>12</td><td>人工呼吸器および補助循環の治療と管理</td><td>関根</td></tr> <tr><td>13</td><td>感染管理と人工呼吸器離脱に向けたケアと管理</td><td>酒井</td></tr> <tr><td>14</td><td>ICU-AW のアセスメントと予防的リハビリテーション</td><td>鵜澤</td></tr> <tr><td>15</td><td>課題：第1-14回で学んだ知識を活用し、クリティカルケアを必要とする事例を看護展開しプレゼンテーションする。 科学的根拠を基に自己の看護を考察する。</td><td>松本・中島・路</td></tr> </tbody> </table>				回	内容	担当教員	1	侵襲と治療	松本	2	診察と治療 外傷	不動寺	3	診察と治療 急性薬物中毒	不動寺	4	診察と治療 熱傷	不動寺	5	診察と治療 急性脳血管障害	田中	6	診察と治療 急性呼吸不全	林	7	診察と治療 ショック	林	8	診察と治療 せん妄	林	9	開腹術/術前・術中・術後の管理	草薙	10	開心術/術前・術中・術後の管理	田邊	11	心疾患の治療と管理/デバイス	水上	12	人工呼吸器および補助循環の治療と管理	関根	13	感染管理と人工呼吸器離脱に向けたケアと管理	酒井	14	ICU-AW のアセスメントと予防的リハビリテーション	鵜澤	15	課題：第1-14回で学んだ知識を活用し、クリティカルケアを必要とする事例を看護展開しプレゼンテーションする。 科学的根拠を基に自己の看護を考察する。	松本・中島・路
回	内容	担当教員																																																		
1	侵襲と治療	松本																																																		
2	診察と治療 外傷	不動寺																																																		
3	診察と治療 急性薬物中毒	不動寺																																																		
4	診察と治療 熱傷	不動寺																																																		
5	診察と治療 急性脳血管障害	田中																																																		
6	診察と治療 急性呼吸不全	林																																																		
7	診察と治療 ショック	林																																																		
8	診察と治療 せん妄	林																																																		
9	開腹術/術前・術中・術後の管理	草薙																																																		
10	開心術/術前・術中・術後の管理	田邊																																																		
11	心疾患の治療と管理/デバイス	水上																																																		
12	人工呼吸器および補助循環の治療と管理	関根																																																		
13	感染管理と人工呼吸器離脱に向けたケアと管理	酒井																																																		
14	ICU-AW のアセスメントと予防的リハビリテーション	鵜澤																																																		
15	課題：第1-14回で学んだ知識を活用し、クリティカルケアを必要とする事例を看護展開しプレゼンテーションする。 科学的根拠を基に自己の看護を考察する。	松本・中島・路																																																		
教科書	特に指定しない。																																																			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清水敬樹(2019)：改正版ICU実践ハンドブック、羊土社</li> <li>・市川幾恵(2014)：ICU版意味づけ経験知でわかる病態生理看護過程、日総研他、適宜紹介</li> </ul>																																																			
評価方法・基準	討議への参加度(60%)レポート(40%)とし、総合的に評価する。																																																			
事前・事後学習	<p>事前学習：事前に提示された資料を読んてくること。</p> <p>事後学習：疑問点を整理し、関連した文献等を調べ、理解を深めること。</p>																																																			
備考	特になし																																																			